

稟議書

(例)

〇〇部〇〇〇〇〇〇殿

下記の情報セキュリティ教育の件につき、ご検討いただきたくお願い申し上げます。

起案日：令和〇〇年〇〇月〇〇日

起案者：〇〇部 〇〇係 〇〇二郎

件名	セキュリティ意識向上のために情報・サイバーセキュリティ初級認定試験を受験する件について				
試験内容	<p>【一般財団法人全日本情報学習振興協会主催】 (https://www.joho-gakushu.or.jp/) 情報・サイバーセキュリティ初級認定試験は、情報セキュリティ対策の基礎を体系的に理解し、実際の企業活動における情報セキュリティ面で支障なく、企業活動を行うことができる知識と能力を認定する試験です。</p> <p>本試験は主に一般従業員を対象としており、「情報・サイバーセキュリティ管理士認定試験」の初級版となっていて、情報セキュリティの基礎的な知識を有することが認定されます。</p> <p>正社員をはじめ、派遣社員、アルバイト社員等、組織に属する全従業員が受験することを想定しており、職員研修、新人研修のための試験として適切であると思われます。</p> <p>この試験は、初級として再構成されて以降、約7年間で29回（平成30年5月現在）の開催を重ね、2.5万人以上が受験し、1万人を超える合格者数となっています。</p> <p>本試験は、企業ニーズに即して、近年の情報セキュリティインシデントを踏まえ、多岐にわたる脅威と求められる対策を加えた試験で、情報セキュリティの教育に適した検定試験であると思われます。</p>				
目的と教育効果	<ol style="list-style-type: none">① 顧客・取引先からの情報セキュリティに関する信用の拡大を図る。② 情報資産や個人情報の保護に関する現場の保護意識を強化する。③ 社内の情報セキュリティや情報管理体制を強化して情報漏洩の事故を防止する。④ 資格保持者多数の存在で情報セキュリティに関して積極的な企業イメージをつくる。⑤ 社内において社員に「学ぶチャンス」「学ぶ意欲」を提供する。				
受験と申込みなど・受験の扱い、	全国の15程の会場で年間4回開催されていますので、社員の最寄りの会場で1回30名程度ずつ何班かに分かれて受験日を指定、当日は個人単位で受験させる。受験日は有給休暇扱いとする。申込者の受験申込書は担当者が提出、受験票・合格通知は本人になされる。				
受験者の募集と合否結果の報告	推奨資格とする。1回の定員を決めて、入社年次の若い社員から順次受験者を募集する。募集は強制とはしない。できる限り受験の必要性を感じるように告知して応募者を募る。受験のための学習結果を重視して、合否の結果についての追求をしない。ただし、結果報告書を求める。不合格の場合、希望者は2回目までの受験を認める。				
受験料とその負担	受験料1人8,000円、受験料は2回目の受験まで会社負担とする。試験団体の公認テキストを購入する、1冊1,980円。実物形式過去問題集を開催団体が支給。試験日当日の交通費などは自己負担。対策講習会などの出席についての金銭負担については予算があれば負担するのが望ましい。				
添付書類	<ol style="list-style-type: none">① 情報・サイバーセキュリティ初級認定試験を開催する団体の経歴② 情報・サイバーセキュリティ初級認定試験の試験内容、受験者数及び合格者率などのデータ③ 情報・サイバーセキュリティ初級認定試験の募集チラシ④ 情報・サイバーセキュリティ初級認定試験の問題サンプル				
受付日 受付者など	令和〇〇年〇月〇日 受付 受付者：〇〇 一郎				
決裁日	99年99月99日	99年99月99日	99年99月99日	99年99月99日	99年99月99日
決裁者					